



▲ 柚の木 Hart TO Hart (流水会の演舞)

◇発行・福岡県志免町議会 ◇編集・議会広報特別委員会 〒811-2292
◇発行日・平成21年11月1日 ◇印刷・九州チューエツ株式会社

わが町のきらっとさん!

志免西小学校でやさい栽培の指導をしておられる
グループを紹介します。

ありがとう! やさい先生

指導が始まったのは今から15年前。現在は牛房章一さん、藤修さんの2人。2年生の生活科の授業でやさいづくりを担当。今年の夏やさいは子どもたちの希望で、トマト、ピーマン、ナスを栽培。4クラスの子どもたちで毎日観察や水やりを行い育てています。たくさん収穫があり、その喜び、感謝の作文をもらったとき、は本当にうれしいと喜んでおられました。



冬やさいは大根とブロッコリーを作付け、小さな種を土に埋めながら「大きな大根になるように」と願いを込め種植えている子どもたちの様子をほほえましく思うと共に、食に関する感謝の気持ちを持ってほしいと願っているとの事でした。今困っている問題として、後継者がおられないとの事です。その事に対して、取材をした広報委員会として「町づくり支援室」に早速応援を依頼しました。いつまでも続けていただきたいと思いますね!

次回の定例会は12月4日より

傍聴に是非お越しく下さい。議会傍聴は、町民が町政に参加する機会のひとつです。

是非お越し下さい。車椅子席もあります。詳細は議会事務局までお問い合わせください。

町議会を撮影したDVDを貸し出します!

希望される方は、図書館または議会事務局にお越しください。

「議会だより」についてのご意見をお待ちしております。TEL935-1001 FAX935-7070
議会事務局は町役場4階です。E-mail:gikai@town.shime.lg.jp

こんなことは違反です! 贈らない! 求めない! 受け取らない!



葬儀の花輪、供花落成式、開店祝の花輪



当選のお礼



町内会の集会や旅行などの催物への寸志や飲食物の差入



秘書等が代理で出席する場合の結婚祝葬儀の香典



入学祝・卒業祝



病氣見舞い



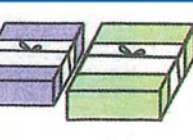
お祭りへの寄附や差入



暑中見舞い年賀状



地域の運動会やスポーツ大会への飲食物の差入



お中元・お歳暮

9月定例会

20年度決算

財政状況やや改善 収納率向上を! ②

7月24日・26日 水害の緊急報告を受ける ⑦

志免保育園設計委託料ほか

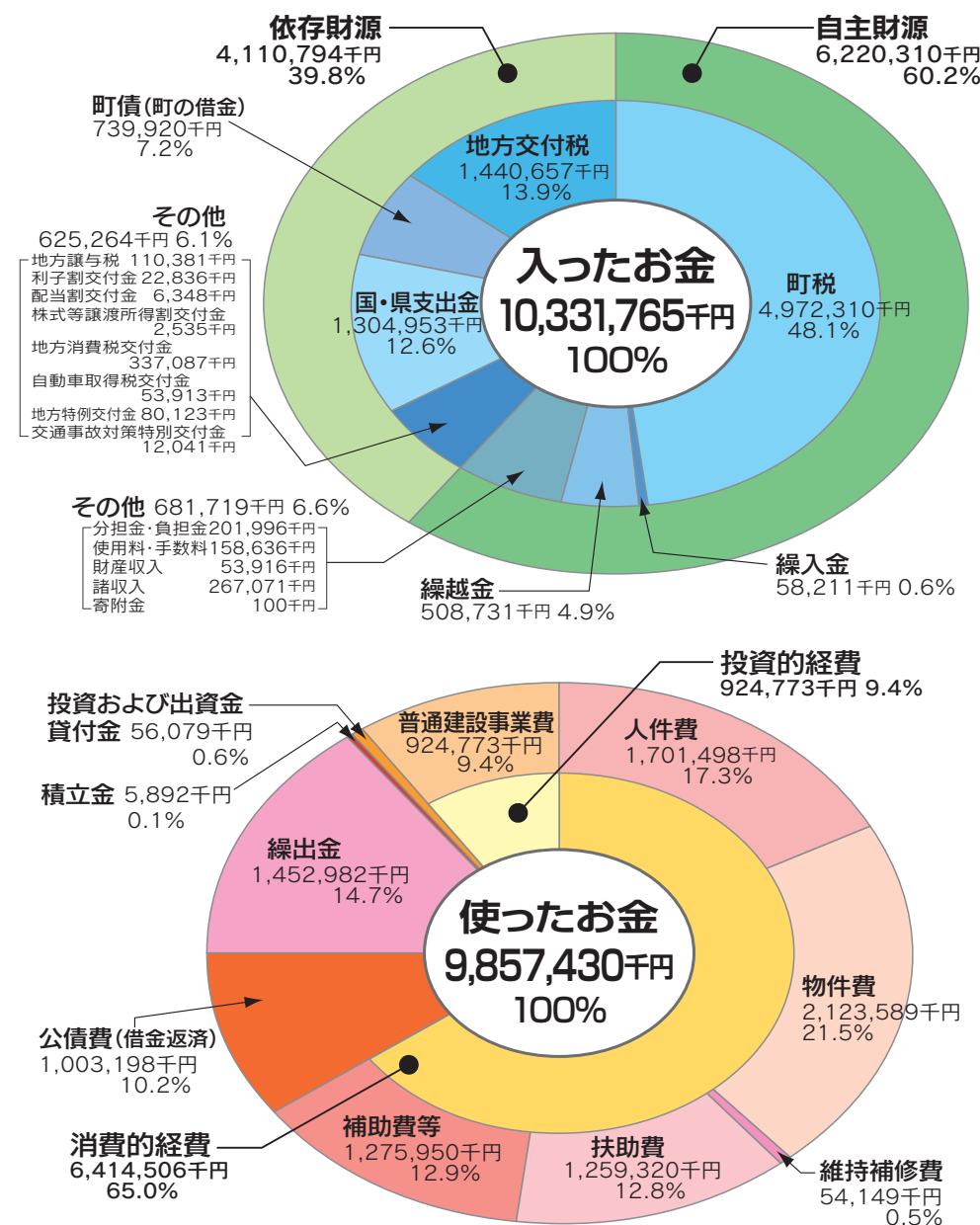
補正予算第3号 否決 第4号で可決 ⑭

議会で水害実態調査 4校区で開催 ⑰

財政状況やや改善 収納率向上を!

第8回
定例会

9月定例会は9月4日から25日まで、22日間の会期で開かれました。20年度の決算・21年度の補正予算・議案24件を可決。健全化判断比率・資金不足比率についての報告、請願1件、陳情1件、決議1件について審議。教育委員2人の任命に同意しました。一般質問は9月7日から9日までの3日間行いました。



賛成多数で可決
(賛成11・反対1) 欠席1

【賛成】堤・助村・丸山・吉住・池邊・牛房・大西・西川・稲永・大林・熊本・二宮
【反対】末藤
【欠席】大熊

平成20年度決算を認めました。
一般会計103億3176万円

実質収支

平成20年度決算では一般会計で約4億2128万円の黒字。

町税の収入状況

収入未済額は約3億1450万円、不納欠損は749万円。収納特別対策室として、職員が一丸となり夜間徴収等に努め、10年ぶりに収納率(94・6%)を上げたが、さらなる徴収を。

町債(借金)・基金(貯金)

借金残高は約85億8200万円、町民一人当たり約20万円。貯金は、今年度約5619万円の取り崩し、37億4630万円。

20年度一般会計主な事業

片峰山保存林購入 7300万円
コンピューター教育推進 3671万円
道路舗装補修 3000万円
志免中央小学校大規模改造 1906万円
桜町集会所解体 252万円

決算特別委員会

委員長 稲永 正昭
副委員長 助村千代子 副委員長 丸山真智子
決算審査は特別委員会を設置し、11日から5日間行い、古庄議長、二宮監査、稲永委員長、欠席1名を除く12人で採決を行い、賛成多数(11:1)で可決された。

平成20年度 特別会計

- 国民健康保険…(歳入)42億2,973万円 (歳出)46億2,500万円 (全員賛成)
- 老人保険………(歳入)4億2,498万円 (歳出)4億1,393万円 (全員賛成)
- 後期高齢者医療 (歳入)3億3,774万円 (歳出)3億1,964万円 (賛成多数 賛成14・反対1) 欠席1
- 住宅新築資金等貸付事業(歳入)1,467万円 (歳出)200万円 (全員賛成)
- 下水道事業………(歳入)16億3,591万円 (歳出)15億9,590万円 (全員賛成)

町の財政状況 全ての指数において前年度より改善されている。

主な財政指数	19年度	20年度
経常収支比率(%)	91.6	91.1
財政力指数	0.767	0.78
公債費比率(%)	11.6	9.9

経常収支率=80%を超えると、財政構造は弾力性を失う。
財政力指数=高いほど財源に余裕がある。
公債費比率=数値が高いほど財政構造の硬直性の高まりを示す。

平成21年度 一般会計補正予算(第5号)

賛成多数で可決 (賛成13:反対1) 欠席1

【賛成】堤、助村、丸山、池邊、牛房、大西、西川、吉田、稲永、大林、熊本、二宮、末藤

【反対】吉住 【欠席】大熊

2億9,898万円増 総額98億3,771万円

補正の主なもの

※は国・県の補助金等による事業

※子育て応援特別手当 5,760万円

平成15年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた子ども1,600人で一人あたり36,000円

災害復旧費 924万円

7月24日・26日の水害のため原形復旧13ヶ所

※保育所整備事業補助金 3,843万円

私立別府つくし保育園の増築および大規模修繕工事。定員を150人から180人に増員。



▲災害状況(平成の森)

※子宮頸がん・乳がん健診委託料 867万円

無料健診クーポン発行分 ・子宮頸がん1,609人 ・乳がん1,485人対象

※迎田・深町線道路舗装補修工事 2,810万円

平成21年度 特別会計補正

- ・国民健康保険……2,385万円減 総額42億6,814万円 全員賛成
- ・老人保険……………1,387万円増 総額8,328万円 全員賛成
- ・後期高齢者医療…1,809万円増 総額 4億1,501万円 賛成多数(賛成13:反対1)
- ・水道事業……………1,050万円減 総額 8億5,561万円 全員賛成

主な議案審査

条例は町の憲法です

国民健康保険条例の改正

出産育児一時金を38万円から42万円に引き上げるもの。

全員賛成

全員賛成

平成22年4月1日施行

教育委員会委員、選挙管理委員会委員、監査委員および農業委員会委員が公務のため会議に出席した時は、費用弁済として2000円を支給する。

特別職の職員(臨時・非常勤)の報酬
および費用弁済に関する条例の改正



人事案件

糟屋郡篠栗町外一市五町財産組合
議会議員任期満了により再任

稲永 正昭 議員

後期高齢者医療特別会計決算

反対討論

末藤議員

後期高齢者医療制度にストップをかけない限り、病気をしたらしめた者が悪い、だから自分で負担をという原則が定着して、国の責任は棚上げされ、日常医療はますます悪くなる。今度の新政権で制度の廃止を明言している。後期高齢者医療制度の廃止を求め、問題点を指摘し、反対討論とする。

財政の健全化に関する報告

(単位: %)

平成20年度決算に基づく健全化判断比率

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
— (13.98)	— (18.98)	10.2 (25.0)	58.7 (350.0)

1. 実質赤字額、連結赤字額、及び資金不足は発生していないため、それぞれの比率は「—」で記載している。
2. () 内の数値は、早期健全化基準を記載。資金不足比率のみ経営健全化基準。
 - ・早期健全化基準を越えると、財政健全化計画をたてなければならない。
 - ・経営健全化基準を越えると、経営健全化計画をたてなければならない。
 - ・水道事業・下水道事業特別会計の資金不足は生じていない。

総務文教常任委員会

結果を生かし教育目標の達成を

学校評価制度

『学校の教育目標の運営状況を点検評価し、その結果を学校の質の向上に生かすため各学校で、それぞれ自己評価、関係者評価を行い結果を公表。評価が分れた学力向上・心の教育・道徳・学級活動の指導などに工夫がなされている。』道徳教育については、学校だけでなく地域と連携をとっている。

他町とくらべ行財政改革のスタートが早かったことは評価するものの、見直しがおそい。計画通りの財政運営がなされるよう強く要請した。

行財政改革

『行財政再構築プランの検証については、平成17年より5ヶ年のシュミレーションに近い財政状況(身の丈90億円の予算)である。これからの3年間の財政計画を立て、膨らんできている歳出構造を見直す。』

電算システム

再構築共同事業

『業務システムの更改が平成21年となっていた。各自自治体同じような業務を行っているのでシステムの統一ができれば経費削減ができる。糟屋地区6町で研究を行ったが粕屋、篠栗、久山3町とは更新の時期が合わず、宇美、志免、須恵3町で共同化する。』



▲志免町電算室(22年10月より更改)

厚生常任委員会



▲シーメイト工作室

期待される待機児童対策

学童保育と

保育行政

『志免南保育園で改修工事をを行い、新しく特定保育が始まる。多様化する働き方に対応できる子育てを支援するもので、待機児童解消につながるものと期待される。』長年の懸案である志免保育園をどうするのか、早くしっかりとした方向性を出すよう提言している。

医療制度改革と健康づくり

『平成20年度のメタボ検診の受診率36.7%、全国平均28.3%、福岡県21.3%で目標数値30%をクリアした。』平成24年度は65

%となっておりさらに啓発が必要。
国保における病院窓口での負担金の減免制度
『減免基準制定(平成17年)以降該当者なし。』広報不足を指摘。情報の開示を周知徹底すべきと強く要請した。

総合福祉施設シーメイトと望山荘の運営

望山荘を7月7日に視察。老朽化しているが改修工事もされ、利用に問題はない。利用者は少くなっているが150人近くが利用。今後役割、位置づけをどうするか審議する。

シーメイトでは福祉的要素の行事や教室の利用者が多い。指定管理者制度の検討をとの意見もあるが、総合福祉施設としてなじまないなど議論を深めたい。

※『』は行政の報告です。

委員会報告(調査・研究)

町の重要な課題

建設常任委員会

水害の緊急報告受ける

7月24日・26日にかけの豪雨災害について被害状況の説明を受けた。『宇美川の河川改修ができていなければ、大災害になっていた。しかし内水による家屋被害は床上81戸、床下167戸などにのぼる。』町民の安全・安心を常に考え行政をすすめるよう要請した。

上水道事業の経営

『安定供給に努めほぼ順調に推移している。給水使用量は7月の天候不順などで前年度より減少。』土生山浄水場は町民の命を預かる重要な箇所であり嘱託や臨時職員だけでなく、専門技術職員を1名配置すべきと提言した。

ごみ収集に関する問題

プラスチック製容器包装類の分別は理解が得られていないとの指摘に対し、『7月中旬、分別の啓発チラシを各戸に配布した。チラシの内容も、写真入りでわかりやすいとの評価を得ている。8月第2回目の収集内容を、宇美・志免リサイクルセンターで確認した結果、以前よりよくなっていた。量も約1/3に減っており、チラシ配布の効果が出たと思われる。』



▲ゴミ問題出前講座(東中学校)

今後機会を捉え、町内会・各団体などに説明している。

会を行っていくよう要請している。

議会運営委員会

志免町議会基本条例の策定については素案を作成し、全員協議会で意見を聞くことにしている。現在条例の素案作りを行っている。
7月の水害については各地域より、文書や口頭で陳情が寄せられているが、全町的に被害が発生した実態を把握するため、全員協議会として地元に出向き、4校区で協議会を開催することとなった。

合併問題調査特別委員会

委員会を廃止

委員会を継続するか否かについて審議を行った。地方制度調査会も市町村合併を来年3月で一区切りとする旨を答申しており、新たな動きなどが出てきた時点で、再度立ち上げることとし、廃止することを全員賛成で決定。

福岡都市圏広域行政調査特別委員会

須恵スマートインターチェンジに接する道路の整備計画について行政視察を行なった。

志鋳跡地対策特別委員会

3町協議会総会でボタ山の管理については、現状のまま、自然活用するとの基本方針を合意した。

今回、吉住・大熊・西川・稲永・熊本・末藤議員が一身上の都合により辞任。委員数を2人減とし、新たに助村・二宮・丸山・吉田議員が委員となり、委員長に牛房・副委員長吉田議員。

志免西小学校の分離新設・増築等調査特別委員会

- 前回からの重点項目については
- ①行政の方向性を示してほしい。
 - ②分離新設・増築のスケジュール。
 - ③財政面の問題。

項目にそって町長、学校教育課・経営企画課より状況説明を受けた。

国庫補助金を公平に

答弁：公平に契約する

大西 勇議員
大西 今回、国の補助として、地域活性化・経済危機対策交付金等が全額交付されるが、地デジ対策については町内業者に平等に交付金が落ちるよ



う努力されているのか。また、商工会との話し合いがされたのか。
地域整備課長 商工会と調査をし、公平に商工会加盟の業者に契約できるよう進めている。
大西 本町独自の緊急融資制度基金2000万円の増額や、今以上借りやすいように利子補給制度か、保証金保証制度の創設を提案している。
商工業の発展なくして町の発展はないと思って

【その他の質問】
在宅医療廃棄物対策強化について



▲厳しい経営が続く(各小規模事業所)



▲防災マップ(平成17年作成)

危機管理

防災への啓蒙啓発

答弁：今後努力していく



西川 蓉子議員

西川 災害に備える日ごろの心得が一番大切だと思う。地域住民に対する啓蒙啓発は行政としてどのように考えているのか。
町長 最近の災害は火災風水害・地震と、複雑な様相を呈している。火災に

対する訓練は消防団を中心に実施しているが、水害等については実施していなかった。今後は、過去の経験をいかし地域の皆様方に対する防災の啓蒙啓発について努力する。
税の収納率アップ
答弁：体制作りを行なう

西川 町財政が非常に厳しいときに大きな財産を取りこぼしている。収納業務に精通した人材を確保し、収納課等を立ち上げては。
町長 総合的に組織機構改革を行い、収納に関するポジションができればと思っている。
税負担の公平さが損なわれない体制づくりをしていきたい。

炭住街の調査と整備

答弁：住環境の整備を検討

池邊 都市計画基本方針「マスタープラン」で炭住街が一つもたっていない。安心安全災害のない町作りが基本と思うが、町長 そういう地域につ



池邊 満男議員

いて調査し整備を進める、その手伝いをする。
地域整備課長 公社の方で土地を少しずつ買収し、防災避難用地として少しは手に入れている。住民の方々に動きがあれば少しでも対応できるように考えている。
市街化調整区域見直し
答弁：町を挙げて取組む

池邊 田富地域の市街化調整区域内には消防署、医療施設、郵便局等があり、計画的な市街化整備を進める必要があると思う。
町長 既に市街化区域と同じような様相を呈している地域である。条件整備が整って、専門的知識などのアドバイスを受け、住民の理解を得て、町を挙げて見直しなどに取組んでいくべきではないかと思っている。



▲田富市街化調整区域

一般質問11人

ここが聞きたい

ズバリ町政を問う

一般質問は会議録にもとづき議員個々の自由編集(その他の質問の記載も)で掲載しております。詳細は会議録(HRP・図書館・各公民館に置く)を参照ください。掲載は質問順としています。



▲庁舎屋上の防災無線

財政健全化 下水道を企業会計へ

答弁：23年度をめどに移行

稲永 下水道特別会計を企業会計に移行すると長年言われてきたが、その兆候が全く見られない。そのあたりの考えを聞かせていただきたい。



稲永正昭 議員

副町長 財政健全化法の定め、行政改革推進の指針により、貸借対照表、行政コスト計算書、資金収支計算書、資産台帳など諸表の整備を速やかに行なう。

23年度くらいから企業会計化を進めたい。

防災体制は総務課で答弁：今後見直し検討

稲永 防災担当課を役場の中核である総務課に設置し、災害の関係は総務課で掌握するという固定した防災体制づくりを。町長 組織機構改革の中で見直して行く。今後の検討課題である。

【その他の質問】

- 7・19水害の教訓は
- サイレンの使用基準
- 避難場所について



二宮美津代 議員

志免保育園

移転が現地で改築か

答弁：早急に結論を出す

二宮 老朽化した志免保育園の対策についての考えを伺いたい。

町長 移転するにも用地の問題、現在地での改築では土地も狭く、保育環境に問題がある。町の財政を勘案し、全面建て替

えはむずかしいと結論づけていたが、再考し早急に結論を出したい。

二宮 民営化への考えは。

町長 一園目の第三者評価と住宅建設などを考慮し、二園目を選定したい。

シチズンシップ教育を答弁：学校と協議し検討

二宮 早い段階で子どもたちの社会性を育てる、シチズンシップ教育が必要ではないか。

教育長 児童・生徒の発達の段階に応じ、社会参加できるよう育成している。

二宮 若者の投票率は低い。選挙制度を身近にする模擬選挙を実施しては。教育長 成長過程の大きな学習となると思う。学校とも協議し検討したい。

【その他の質問】

- 父子手帳の作成を



▲早急な結論が待たれる



▲多目的広場を芝生に



牛房良嗣 議員

多目的広場

芝生で健康広場に

答弁：実現へ検討する

牛房 今の砂利広場を青々とした緑の芝生へ変え、幼児から高齢者のみんなが怪我の心配なしにはだして歩き、遊び、走れる健康づくりの広場にして頂きたい。更に芝生化の事業を進めるに当たって

は、小・中学生及び諸団体の参加を呼びかけ、行政・町民が一体となり、芝生事業に取り組む新しい協働の実験例としては。

町長 芝生化を協働のまちづくりの一助として役立てるべきとの提案について前向きに検討する。

高齢者免許更新へ支援答弁：難しい問題である

牛房 70歳以上の高齢者の運転免許証の更新時に

【その他の質問】

- 希望する高齢者へ「身分証明書」の発行

試験場（更新場所）への送迎の支援を。粕屋・須恵・篠栗の3町はすでに実施している。

町長 難しい問題である。もう少し検討させてもらいたい。

あま水条例 貯留浸透施設の設置

答弁：今後の検討課題に

吉田 千葉県市川市では、浸水被害、遊水の枯渇、水質の悪化が進み貯留浸透施設の普及が必要との認識が高まり、あま水条例を制定してある。



吉田耕二 議員

志免町においてもこのような条例を制定しては。町長 自然の水循環のバランスを調整するために必要ということだと思つた。ただ条例をつくるだけでは意味がない。どのような展開ができるかを含め、今後の検討課題とする。

職員の地域担当制度答弁：検討していく

吉田 豪雨災害に遭われ

た方から誰に相談していいかわからない、との声が上がっているとの報告があった。

これを機に、職員の地域担当制度を確立しては。町長 人事、組織の機構改革をする時に、そのことも含め検討していく。財政的、人面的な面も解決しなければならぬが、機会がある時にどのようにできるかチェックをしていく。



▲雨水タンクの設置



助村千代子 議員

助村 認知症サポーターを生かした見守り、また小地域（町内会）福祉活動計画を立てるべき。
町長 十分検討する価値がある。
助村 地域福祉活動の推進は民間の立場で社会福

地域福祉

地域毎の計画が必要
答弁…十分検討の価値ある



▲職場環境の改善を

住民自治

その体制づくりは

答弁：まちづくり支援室で

社協議会が担っているが、行政での担当部署を明確にし、設置すべきである。
総務課長 今は課を設けていないので全庁的な取り組みが必要。第5次総合計画で考えていく。
がん検診の推進の実施
答弁…課題として考える
助村 乳がん・子宮がんの無料クーポン券の予算が国において組まれている。町の実施時期は。

健康課長 11月に集団検診をスタートする。病院でも考えている。
助村 男性特有の前立腺がんは早期発見で100%予防できるので検診を。健康課長 今後の課題として、財政も考えながら相談したい。
【その他の質問】
●3人乗り自転車のレンタル制度

堤久美子 議員



堤 補助金等検討委員会を立ち上げ、補助金の見直しをされたことは、住民自治の出番をつくられた。どのように取り組んでいけるのか。

町長 地域で何か困ることがあるとき、自分たちで何ができるか考えてやってみる。必要な時行政と協力して問題解決する。
総務課長 まちづくり支援室でボランティアの総合的な取り扱いをする。まちづくりの支援をする。

堤 意思疎通ができて、仕事効率が上がり、プレゼンテーションを高める朝礼を提案する。
総務課長 課内の実情にあった課内会議がある。



▲乳がん・子宮がんの検診無料クーポン券

総合治水

都市型水害への対応

答弁：財源との関係がある

丸山 住民の命・財産を守るのは、自治体の第一義的な使命である。
7・19水害後、河川改修以外の浸水対策をどう進めたのか。



丸山真智子 議員

地域整備課参事 ハード事業は志免城戸地区等で行った。
流域対策も公共事業で雨水浸透ます等採用した。
丸山 今回の災害後に着目された福大サッカー場グラウンドを調査したか。
町長 研究し、勉強する。

「その他の質問」
●男女共同参画後期計画
●プラスチックゴミ処理
地域をつくる10ヶ年キャンペーンを実施している。サポーター制度で地域に理解者を増やせないか。
町長 高齢化で認知症の数も多くなる。
理解し、地域で見守る認知症サポーターを増やしたい。安心して住めるまちづくりに努める。



▲水害の状況



▲健康課の窓口

感染症対策

新インフルエンザは

答弁…自分の健康は自分で



末藤省三 議員

末藤 新インフルエンザの感染者数が増加し、世界保健機関は感染を確立したとするフェーズ6に引き上げた。今までに流行したことのないウィルスでほとんどの人が免疫を持っていないので、次々

と感染するおそれがあり、これが特徴の一つでもある。特に5歳以下の子供の対応と対策をどう考えているのか。
総務課長 新型インフルエンザ対策行動計画を策定し、各課で対応するようにしている。
末藤 妊産婦対策はどのようにし対応するのか。
健康課長 検診は病院で行っている。医師会等の判断ですが、なるべく妊婦が移動しないような体

制づくりが必要と思う。
末藤 インフルエンザの接種料金8000円は公費負担すべきと思うが。
健康課長 ワクチンは厚労省関係でわからない。
末藤 全世帯へマスクを配布したらどうか。
町長 自分の健康は自分で管理するのが先決ではないかと考えている。



請願・要望・ 陳情・意見書

請 願	
戸建て住宅耐震改修助成制度の創設を求める。	
請願者	福岡県建設労働組合 執行委員長 下川 一雄 粕屋支部長 長野 俊博
内 容	木造戸建て住宅で耐震性が不十分とされる住宅は、全国で約1000万戸あり、耐震化はほとんど進んでいない。耐震改修推進は喫緊の課題で、そのためには助成制度が不可欠です。
採決結果	建設常任委員会で継続審査

陳 情	
天皇陛下御即位20年奉祝賀詞決議	
請願者	福岡県奉祝委員会 会 長 河部 浩幸
内 容	天皇陛下は御即位20年の慶賀すべき年を迎え、各省庁は御即位20年の記念事業に取り組むことを発表した。国民の祝意の気運を高め、国家、国民のために尽くされた天皇陛下に、心から感謝申し上げるため。
採決結果	賛成多数で採択し、議会最終日に奉祝賀詞決議を議長が読み上げる



ボランティアの 町づくり・体制づくり

準備委員会を立ち上げて、ボランティア団体の拠点づくりをすると共に、ボランティアコーディネーターの配置を行ってほしい。

〔丸山議員・平成20年6月定例会での質問〕

21年4月より実施

シーメイト内情報室にまちづくり支援室を設置し、合せてボランティア・コーディネーターを配置している。



▲シーメイト内情報室にある「まちづくり支援室」

臨時議会

第5回臨時議会

7月8日開催

平成21年度一般会計補正予算(3号)

9680万4000円増。総額を95億3873万1000円
歳入は国からの地域活性化・経済危機対策交付金、理科教育設備整備費等補助金。
※地デジ対応テレビ購入費……………759万円
※地デジ対応テレビ購入費……………500万円
※志免保育園増改築事業設計委託料……………1025万円
※学校教材教具……………647万円
※町民センター外部補修工事……………4156万円
※新型インフルエンザ対策……………159万円
賛成少数で否決(賛成5・反対9) 欠席1



町民センター外部補修工事

(賛成) 助村・丸山・大西・吉田・熊本
(反対) 堤・吉住・池邊・牛房・西川・稲永・大林・二宮・末藤 (欠席) 大熊
志免保育園増改築、堅坑櫓清掃業務、地デジ対応テレビ購入などに反対との意見が予算特別委員会の中で出された。
※印は国・県の補助金等による事業

第6回臨時議会

7月14日開催

平成21年度一般会計補正予算(4号)

9680万4000円増。総額を95億3873万1000円
総額は7月14日の臨時議会で否決となった補正3号と変わらず、志免保育園増改築事業設計委託料500万円が削減され、予備費に変更された。
国からの交付金、補助金事業のみが再提案された。

(賛成) 助村・丸山・牛房・大西・吉田・熊本・二宮
(反対) 吉住・池邊・西川・稲永・大林・末藤 (退席) 堤 (欠席) 大熊
賛成多数(賛成7・反対6・退席1) 欠席1

第7回臨時議会

7月31日開催

福岡県介護保険広域連合議会議員の選挙
広域連合議会議員であった南里町長が広域連合粕屋支部の支部長を受けられ、空席となったため。
古庄議員を選出

一般会計補正予算(4号)に対する賛成討論

賛成討論 二宮議員

志免保育園増改築設計委託料500万円を削減。今後十分に精査し、政策決断したいとの町長答弁である。保育環境が良好とは言えない園の新築移転も視野に、調査研究されることを期待し賛成する。

一般会計補正予算(3号)に対する賛成討論

賛成討論 大西議員

地域活性化・経済対策交付金8900万円の実行計画。県にも申請し、全額交付される事業に対して、これを反対する事はあってはならない。経済活性化を願う議会として、ぜひ採択していただきたい。

賛成討論 吉田議員

理科教育設備整備の補助金は、子どもの教育環境の整備に寄与し、未来に対する重要な投資である。また文化財保護費に計上の委託料は、堅坑櫓を重要文化財とするため計上したもの。将来の志免町のために重要な補正予算である。

賛成討論 丸山議員

堅坑櫓関係の委託料は、国の重要文化財認定の資料なので時間がない。このチャンスを活かすべき。町立保育園の改修への補助金も出なくなる。今回の活性化交付金を充当し、特定保育室など設置してほしい。

初めての試み!

7月の水害 実態調査と意見交換会 4小学校区にて開催



南小校区 (9月14日・吉原公民館)



西小校区 (9月15日・西校区ボランティアセンター)



中央小校区 (9月16日・南里三公民館)



東小校区 (9月17日・東区公民館)

議会では所管の建設委員会を中心にその対応に全力を挙げているところですが、今回の災害は全町に及ぶもので、その状況を議会としても把握するために、9月本議会中の9月14日から17日まで4日連続で、議会終了後の夜7時から4小学校校区に出向き、全員協議会として開催しました。

7月24日・26日、町全域で集中豪雨による大きな災害が発生しました。被災された方々には、心からお見舞い申し上げます。

現在その議事録を作成中ですが、それを基に要旨録を作成し、議会ホームページ、議会だよりで公表します。また各町内会、行政にも配布し、議会と諸課題を共有した上で解決に努力してまいります。

ご協力頂きました各町内会会長様に感謝申し上げます。

厳しい指摘と悲痛な声が相次ぐ!

実態と意見・要望を町民と議会と行政で共有し解決へ

議会あれこれ



▲災害対策本部

水害調査の全員協議会を初めて四校区で開催生の声に議員も感動!

九月議会が始まった二日目、某町内会の会長さんが悲痛な思いを込め議長室に入室され、七月の豪雨災害の実態と対応について強く要請されました。

今回の水害は、全町的災害でもあり、議会として地域に向き、直接、生の声を伺い、全員が実態を理解し、町民と議会

で課題を共有、解決に努力することを目指し、町内会長様のご協力を頂き開催いたしました。(次頁に詳細)

初めての試みで、生々しい被災の様子、何十年も同じ被災を受けられていた方々の悲鳴と怒り、過去の議員の係わり方への非難等々、厳しい指摘が相次ぎましたが、最後は、建設的な解決策の提案と、議会へのエールも頂き、議員も満足感を抱いたと同時に、重責を痛感いたしました。

特に大災害一步前の事例が各地区で報告されたのは、行政からは聞けない貴重な報告でした。

地方自治の運営を担う二元代表制の一方である議会のあり方が問われる昨今、このように、直接、町民の皆様と課題を話し合い共有することは、望まれる議会、信頼される議会の姿でもあります。

これも開かれた議会、議会改革の一つです!

(記・議長・古庄)

※議会へのご意見をお待ちしております。
◆議長へのメール: simegityo@yahoo.co.jp

委員会研修

高い評価を得ました。

8月25日と26日、全国町村議会広報研修会に参加した。

一日目は、武庫川女子大学言語文化研究所長・佐竹秀雄氏による、わかりやすい文章表現、表記、情報時代に求められる広報、ネットPR発想で広がる

二日目は前もって提出をしていた広報のクリニックが行われた。

全国の町村議会から出された広報紙の良い点、改善点について講師の批評

があり勉強になった。

志免町議会広報については、評決の賛否を明示し、議会の役割を明確にしている点で高い評価をいただいた。

読者の立場にたった見やすい、読みやすい編集がされているとの評価を受けたが、表紙の見出しの作り方や色使いに工夫があるとの指摘を受けた。



町村議会広報研修会のようす